

研修日報

研修生氏名：_____ 研修先（農家・法人名）：_____ 指導者：_____ 年月：_____

月日	研修の時間（開始～終了・休憩）	研修時間数	研修内容（作業・作物・場所）	学んだこと・できるようになったこと	疑問・次に学ぶこと	指導者の確認

- 1日ごとに研修の時間と内容を書き、月末に研修時間を合計します。就農準備資金では、研修期間がおおむね1年かつおおむね年間1,200時間以上であることが要件の一つで、半年ごとの研修状況報告に研修日誌を添えて提出します。
- 交付主体（都道府県・青年農業者等育成センターなど）が様式を指定している場合は、そちらを使ってください。この表は、指定の様式に書き写すための日々の記録用です。
- 記入例の氏名・作業は架空のものです。

研修実施計画（月別）

研修生氏名：_____ 研修先（農家・法人名）：_____ 研修期間：_____ 就農予定時期・就農形態：_____

年月	研修内容（計画）	習得する技術・知識	研修時間（計画）	研修時間（実績）	できたこと・残った課題
例 2027年4月	トマトの定植・誘引、育苗ハウスの温度管理、出荷実績の座学	定植作業、換気の判断、販売先ごとの規格	100	104	定植は1人でできる。換気の判断は指導が必要

- 研修先と研修生で、研修を始める前に1年分の計画を立てます。「習得する技術」は就農後に1人でできるようになりたいことを書きます。
- 月の研修時間（実績）は研修日報の合計を写します。半年ごとに計画と実績を見比べて、残った課題を次の月の計画に反映します。

技術の習得状況の確認

研修生氏名： _____ 研修先（農家・法人名）： _____ 確認日： _____ 確認者： _____

分野	技術・知識（作物・機械・経営など）	習得度（4～0）	前回の習得度	今後の課題
例 栽培管理	トマトの誘引・芽かき	3	2	品質をそろえる（草勢の見方）
栽培管理				
栽培管理				
機械・施設				
機械・施設				
安全	農業機械の安全な使い方・農薬の安全な取扱い			
経営	記帳・収支の把握			
経営	販売先・価格の決め方			

- 習得度の目安 4＝1人で適切にできる／3＝1人でできるが品質や速さは劣る／2＝指導を受けながらならできる／1＝まだできない／0＝まだ習っていない。
- 半年ごとなど定期的に、研修生と指導者が一緒に確認します。